東京港､3年4カ月ぶり海外クルーズ船　訪日客消費に期待

#東京 #インバウンド #新型コロナ

2023/3/2 18:35

東京港に入港した海外クルーズ船「アマデア」（2日、東京都江東区の東京国際クルーズターミナル）

新型コロナウイルス禍で受け入れを停止していた海外クルーズ船が2日、東京国際クルーズターミナル（東京・江東）に寄港した。東京港に海外クルーズ船が寄港するのは3年4カ月ぶり。3月中には計6隻の海外クルーズ船が寄港する予定で、インバウンド（訪日外国人）による消費の本格化へ期待が高まる。

2日午前8時ごろ、ドイツ企業が運営するクルーズ船「アマデア」が寄港し、乗客約500人が東京の地を踏んだ。ターミナル1階にはさまざまな目的地を巡るツアーバスが並び、乗客らはバスに乗って観光地へと向かった。

ターミナルでは歓迎のセレモニーも開かれ、小池百合子知事は「（東京の）さまざまな伝統、文化を乗客の皆さんに楽しんでいただきたい」と述べた。

ドイツ企業が運営するクルーズ船「アマデア」（右奥）が入港した東京国際クルーズターミナル（2日、東京都江東区）

東京国際クルーズターミナルが海外クルーズ船を受け入れるのは2020年9月の開業以来初めて。大型化する海外クルーズ船の受け入れに向け、晴海客船ターミナル（東京・中央）から置き換わる形で整備されたが、コロナ禍の影響でこれまでの利用は国内船に限られていた。

4月以降も海外クルーズ船による予約が相次いでおり、従来の晴海客船ターミナルでは受け入れられなかった大型客船の寄港も予定されているという。都はクルーズ船の受け入れ体制を強化する方針で、24年度中にも晴海客船ターミナルを再整備し、供用開始を目指す。